

14期 生演奏を楽しむ音楽

1.講義日 2026年7月10日(金)

2.テーマ 楽器の魅力③ハープ

3.講師 ハープ 野田晶子先生 大阪音楽大学講師

4.概要

はじめにハープの構造について説明があった。弦は47本あり目印のため赤色の弦はドの音、青色はファの音になっている。高音はガット弦、低音はスチール弦で、湿度により響きが影響されやすい。足元にペダルが7本あり、3段階に踏み込むが、半音ずつ音が変わる。胴体が響きを増幅する。

早速演奏がありハープの音、響きと演奏法を体感する。よく響き、演奏の技法も独特のものがある。グリッサンドなど。

5.演奏曲

前半 お告げの祈り (ルニエ) 夢見る人 (フォスター) アメイジンググレイス 引き潮 (マックスウェル) 夢の中の馬 アンダルシアン シルバーユニコン 跳ね馬ラグ (ケイター) 花の歌 (ランゲ)

後半 浜辺の歌 (成田為三) さくら変奏曲 (日本古謡) 荒城の月変奏曲 初夏草心抄 (雨田光平) 蘇州夜曲 (服部良一) summer (久

石讓) いつも何度でも (木村弓) 花～すべての人の心に花を～ (喜納昌吉)

初めて聞く曲もあったが、ハープの魅力のせいか、なじみやすくての曲もすんなりと楽しめた。

6.終わりに

ハープといえば王侯貴族のサロンで優雅に演奏されるイメージがあったが、舞台の上ではなく受講生のごく近くで楽器と演奏を見聞きして、だれでもが親しみやすい楽器であると再認識した。

楽器の形も見た目にもかっこ良く、演奏する姿も優雅に見え（実



際は見えないところでペダルを踏んだり忙しく大変?) 響きも独特でなんともいえない魅力がありました。ふだん身近にない楽器を楽しめてすばらしい講座でした。

以上